

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和3年(2021年)3月31日		
横断的な課題	3交流と地消地産や産業振興による地域の活性化							
地域重点政策	2産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興						上田地域振興局	
実施機関	農業農村支援センター			担当課	所属	上田農業農村支援センター		
事業名	千曲川ワイン振興プロジェクト【新規】				電話	内線2435、2451		
					E-mail	ueda-nogyo@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	千曲川ワインバレーにおけるワイン主産地として、ワイン用ぶどう栽培面積の拡大や品質の向上、並びに生産者の確保・育成に取り組む。						
	現状と課題	ワイン栽培の歴史は浅いものの、栽培適地としての知名度向上等により、栽培面積やワイナリー数は増加傾向であるが、生産技術の向上・高品質化及び生産者同士の情報共有等が重要となっている。また、栽培面積の拡大等により高冷地での植栽が始まっており、標高の高い地帯におけるデータ収集が必要となっている。						
	内容 (変更後の内容)	<p>1 高冷地における生育状況等調査 栽培面積拡大により新たに植栽が始まった高冷地における冬期間の生育状況を把握するため、祢津御堂団地内の5箇所にて自記温度計を設置し、定点観測によるデータ集積調査を実施する(11月～3月)。集積データは今後の生産性向上や気象災害回避に向けた技術対策の基礎資料とする。</p> <p>2 生産者技術セミナーの開催 生産者の交流促進、経営レベルの向上、ワイン産地の基盤強化を図るため、ワイン用ブドウ栽培者を対象とした生産者技術セミナーを開催(12月頃)する。</p>						
	事業期間	令和2(2020)年6月			～	令和3(2021)年3月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	高冷地生育状況等調査	調査機器の購入	71,720	需用費				
	生産者技術セミナー開催	講師謝礼、旅費	22,654	報償費、旅費				
	生産者技術セミナー開催	会場使用料	8,184	使用料				
	合計		102,558					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	栽培面積の拡大(R元:95ha)		105ha	108ha	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成			
事業実績・成果	<p>1 高冷地における生育状況等調査 高冷地における冬期間の生育状況を把握するため、東御市祢津御堂団地内5箇所にて自記温度計を設置し、観測によるデータ集積調査を実施した。(12月～3月)。 今後、高標高地域での気象災害の回避に向けた技術対策資料とするとともに、研修会・HP等で生産者向けにデータ集計結果を報告する。</p> <p>2 生産者技術セミナーの開催 生産者の技術レベル向上と交流促進を図るため、生産者技術セミナーを開催(東御市、12/15)した。ワイン用ぶどう生産者等40名が参加し、栽培技術研修や講師を交えた意見交換などを実施した。また参加者アンケートを行う中で意見・要望などを確認した。 生産者の栽培技術や病害虫対策等への理解が深まるとともに、ワイナリー建設希望者と講師陣とのつながりができた。</p>							
今後の方向性	複数年のデータを集積する中で、高冷地でのワインぶどう技術指導に資する。セミナー開催への要望が多いことから引き続き開催し生産者の技術向上と交流促進を図る。							